

「土木の定義・説明(案)」の提案

(公社)土木学会 社会コミュニケーション委員会
土木広報アクションプラン小委員会幹事会
国語辞書WGリーダー 朝田 将

1. はじめに

<基本認識>

- ▶ 既存の国語辞書における「土木」の表現が、土木界における認識と、大きく乖離しているとの認識

<アプローチ>

- ▶ 有識者、関連学協会、大学など、土木界に身を置く立場から発信されている土木の定義、説明を再抽出
- ▶ 諸外国の土木学会等における“Civil Engineering”の定義も確認

<提案>

- ▶ 国語辞書に記載する際の、新たな土木の定義・説明(案)を提案

2. 既存の定義・説明

- ▶ Wikipedia
- ▶ 大学教科書
- ▶ 有識者の言葉
- ▶ 関連組織・協会HP
- ▶ 大学(土木系学科)HP
- ▶ 海外土木系学協会

※2013.10~2013.11に調査を実施

現時点ではHPが更新されて再確認できないものも含まれる。

2.1 Wikipedia

- ▶ 土木工学(どぼくこうがく、英語:civil engineering)とは、良質な生活空間の構築を目的として、自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の整備のための技術(土木技術)について研究する工学である^[1]。

脚注

[1] 土木学会.“土木学会とは”. 土木学会概要. 2008年3月19日閲覧

⇒現時点の土木学会ホームページでは...

- ▶ 台風が常襲し、地震が多発する、我が国の厳しい自然条件下で、これら自然災害から人の暮らしを守り、社会・経済活動を支える基盤をつくるとともに、良質な生活空間を実現するため、土木技術はその中心的な役割を果たしています。この土木技術を学問として体系的に支えているのが土木工学です。

出典:土木学会.“土木学会とは”. 土木学会概要. 2014年9月6日閲覧

2.2 大学教科書

(1) 土木工学体系1

- ▶ 土木技術者の役割は、国土開発を計画し、設計し、施工すること
- ▶ 土木技術者の使命は、それぞれの地域に、新鮮な技術的手段を加えることによって住民の生活の向上に資し、その結果、新しい文化創造の基盤をつくること
- ▶ 土木という言葉の持つニュアンスは、大きい個人差が入り得るもの。土木技術者においても明確な概念があるか保証の限りでない。土木工学を教えているはずの先生方の中でもあいまい
- ▶ 土木という日本語にはcivilのような公共的な感覚はやや乏しく、土方、土建屋のような泥くさくて、前近代的なイメージを持つ言葉と結びつく感覚がある

出典 土木工学体系1「土木工学概説 土木技術論」, 彰国社,
高橋裕・酒匂敏次・椎貝博美著, 1988, 第1版第3刷.

2.3 有識者の言葉

(1) 青山 士(土木学会第23代会長)

- ▶ 文化技術(Civil Engineering Versus Military Engineering)の一部門なる土木技術は人類社会の自然力に対する戦術であって自然力に抗する鎧を供するのみならず、文化技術の他の部門と共に社会国家の文化経済の発展充実の基礎を作るものであるということが識らるるのである。

出典 (会長講演)「社会の進歩発展と文化技術」,

土木学会誌, Vol.22, No.2, 1936.

(2) 高橋 裕(東京大学名誉教授)

- ▶ 土木事業は、(中略)、基本的には、社会と経済を支え、これらと密接に関係して文化の社会的基盤を築き人類史の発展に寄与してきたし、今後ともまたそうであらねばならない。

出典 「現代日本土木史」, 彰国社, 1990.

2.3 有識者の言葉

(3) 藤井 聡(京都大学大学院教授)

- ▶ 「土木」という言葉は、民の暮らし向きをより良きものにするために「聖人」(知徳が高い人物)がなした「築土構木」(土を盛り、木を組むこと)なる行為にその由来がある、だからこそ土木という言葉は民を思う聖人の徳高い行為を言うものである。

出典 「土木の「意味」を考える」, 土木学会誌, Vol.93, No.12, 2008.

(4) 大石久和((一財)国土技術研究センター国土政策研究所長)

- ▶ 偉大な自然の営みの中で、人間の存在領域を確保する学問又はその行為。

出典 ヒアリングより, 2013.5.24.

2.4 関連組織・協会HP

(1) (公社)土木学会

- ▶ 土木は、英語でCivil Engineeringといいます。このCivilとは「市民」「文明」という意味です。つまり、土木(Civil Engineering)とは、「市民のための工学」あるいは「市民の文明的な暮らしのために、人間らしい環境を整えていく仕事」を意味する言葉なのです。

出典 「土木という言葉について」, 土木学会HP, 土木パンフレットシリーズ.
(<http://www.jsce.or.jp/contents/pamph/index.shtml>)

(2) (一社)日本建設業連合会

- ▶ 土木のことを英語でCivil Engineeringと言います。日本語に訳せば「市民工学」ということになるんですね。

出典 「土木パビリオン」, 日建連旧HP
(<http://www.nikkenren.com/doboku/pavilion/index.htm>)

※他の学協会HPには、土木の定義、説明に関する記述は見あたらない。

2.5 大学(土木系学科)HP

(1) 芝浦工業大学

- ▶ 土木工学は、英語でCivil Engineering(市民のための工学)。人間と自然が共存する豊かな文明社会の創造が学問の目的です。

出典 芝浦工業大学旧HP(更新されて現在はnet上で確認不能)
(http://www.shibaura-it.ac.jp/faculty/civil_engineering.html)

(2) 大阪大学

- ▶ 土木工学は英語で「Civil Engineering」と言うが、直訳すると市民工学である。人間・社会を自然の脅威から守り、人間の行動・社会活動を円滑化し、かつ、向上させるための諸施設(社会基盤といわれる)を配置・建設する工学である。

出典 大阪大学旧HP(更新されて現在はnet上で確認不能)
(<http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/high/high11.html>)

※全国の26大学の土木系学科のHPを確認し一例を紹介

2.5 大学(土木系学科)HP

(3) 足利工業大学

- ▶ 土木と聞くと、橋を架けたり、道路をつくったり、そんなありふれた工事をイメージしていませんか？でも、何のために工事をしているのでしょうか？実は、自然災害から人を守り、住み良いまちをつくり、快適な生活を支えるためなのです。そして、自然と調和した美しい国土をつくり、社会・経済を活発にするために、世の中のあらゆるところで土木工学は活躍しています。

出典 足利工業大学オープンキャンパスHP

(<http://www.ashitech.ac.jp/dousoukai/osirase/h13-o-campus/h13-o-c.htm>)

※全国の26大学の土木系学科のHPを確認し一例を紹介

2.6 海外土木系学協会

(1) ICE (Institution of Civil Engineers: 英国土木学会)

— About civil engineering —

- ▶ Civil engineering is a professional engineering discipline that deals with the design, construction and maintenance of the physical and naturally built environment. Put simply, civil engineers build bridges, roads, canals, dams, tall buildings, and other large structures.
- 土木工学とは、物的建造環境の設計・建設・維持に関する専門的工学分野である。簡単に言えば、土木技術者は橋や道路、運河、ダム、高層ビルや大きな建築物などの建設を行う。
- ▶ Civil engineering is all about creating, improving and protecting the environment in which we live. It provides the facilities for day-to-day life and for transport and industry to go about its work.
- 土木工学とは、私達が生活している環境を創り、改善し、守ることである。また、日々の生活や輸送機関、産業の為の施設を提供する。

2.6 海外土木系学協会

(2) ASCE(米国土木学会)

— What is Civil Engineering? —

- ▶ Civil engineering is the design and maintenance of public works such as roads, bridges, water and energy systems as well as public facilities like ports, railways and airports. Civil engineers touch many aspects of our everyday lives. From the water you use to brush your teeth in the morning to the road you drive on to work and the school where you take your children to the power that charges your cell phone.
- 土木工学とは、港や鉄道、空港だけでなく、道路や橋、水道やエネルギー設備といった公共事業の設計や維持を行う。土木技術者は、朝歯を磨く水から、仕事や子供を学校に連れて行く為に使っている道路、携帯電話の充電まで、私達の日々の生活のあらゆる局面に関係している。

3.土木の定義・説明(案)

提案 1 : “広辞苑”等の中型国語辞書への 掲載イメージ

どぼく【土木】

- ① 人間と自然が共存する豊かな文明社会の創造を目的とする学問。
- ② 道路・鉄道・下水道・港湾など、社会資本の整備や機能維持を通じて、国民生活を豊かにし、経済活動を支える行為。

3.土木の定義・説明(案)

提案 2：“新明解国語辞典”のように
読んで楽しい辞書への掲載イメージ

どぼく【土木】

人間や社会を自然の脅威から守り、人間の行動および社会活動を円滑化し、かつ向上させるための学問。または道路・鉄道・下水道・港湾など、社会資本の整備や機能維持を通じて、これらの目的を果たすための行為。

3.土木の定義・説明(案)

提案 3 : ごく平易に表現した辞書への 掲載イメージ

どぼく【土木】

自然災害から人を守り、住み良いまちをつくり、快適な生活を支えるとともに、自然と調和した美しい国土をつくり、社会・経済を活発にするための学問。または道路・鉄道・下水道・港湾など、社会資本の整備や機能維持を通じて、これらの目的を果たすための行為。

3.土木の定義・説明(案)

提案 4 :小学生向けの辞書への掲載イメージ
(小学校4年生までの配当漢字で作成)

どぼく【土木】

地しん、つ波、台風などの自然さい害から人を守り、自然を大切にしながら、人人が気持ちよく生活できるまちづくりの方法を考えることや、出かけやすさ、物の運びやすさなど、世の中を活発にするような仕組みを考えること。またはこれらの目的のため、道路・鉄道・下水道・港などをつくること、こわれたりいたんだりした部分を直すこと。

4. おわりに

- ▶ 国語辞書の編集者への働きかけは容易ではない。
- ▶ 提案が行えたとしても、すぐに辞書の表現が変更される訳でもないと認識。
- ▶ それでも、それが必要な局面となった場合にすぐに提案できる、“土木界の考える土木の定義・説明”を準備しておくことが重要。
- ▶ 今回の提案をベースに、土木界内において、「新たな土木の定義・説明」に関する議論の盛り上がり期待したい。